


TWINCLE-J 活動報告書

日時	平成 27 年 6 月 16 日 16:00～18:30
派遣先	千葉県立千葉東高等学校（生物部、化学部、地学部）
メンバー	千葉大学生 1 名、留学生 12 名
活動内容 生徒数：20 名	<p>15:45 千葉東高等学校に到着。北川先生が事務室まで迎えに来てくださり、教室まで案内して下さった。</p> <p>16:00 生物部、化学部、地学部による部活動紹介・研究紹介のプレゼンテーションが始まった。納豆を用意して、留学生に試食をしてもらってからねばりのしくみについて説明する、さわると動く植物を用意し、実際に留学生にそれを体験してもらう等というように、高校生がつかみを工夫していた。活動を取り入れることで興味を引き、留学生からは積極的な質問があった。留学生からの専門的な内容の質問に高校生が困っている様子も見られたが、メンバー同士で協力して一生懸命答えていた。</p> <p>17:00 留学生によるプレゼンテーション開始。インドネシアとタイの学生による自国紹介・研究紹介が始まった。「speak slowly please」と北川先生は留学生に声をかけ、また、留学生も高校生が理解しやすいように写真を使って視覚に訴えるスライドを使用していた。高校生からは、食べ物や観光地、大学について等多くの質問があった。留学生にも、もっと知ってもらいたいという熱意が見られ、大変盛り上がった。</p> <p>18:00 交流会開始。今まで何度か留学生との交流をしていた上級生を中心に、高校生が積極的に声をかけていた。初めてこのような留学生との科学を通じた交流に参加した1年生も、上級生の姿を見て積極的に会話をしていた。留学生は、自分の国に興味を持ってくれる高校生に留学を進め、より異文化交流を深めるようアドバイスもしていた。</p>
	
派遣先教員 コメント	参加した生徒が益々意欲的になっていくのを見て、留学生派遣が大変いい機会になったと痛感しております。今後もこのような取り組みを続けていきたいと思えます。
留学生 コメント	I think this program is very nice. Especially the students sharing their club activities is a very good point. And ASEAN students can also share about their culture, so we can know each other culture.
学生リーダー コメント	今回の交流で最も印象的だったことは、高校生の積極的に交流しようとする姿だ。東高校訪問は今回で 3 回目となるが、高校生の中で異文化の壁が低くなったことを確実に感じ取ることができた。また、初対面の相手とのグループによる異文化交流は、効果的であると感じた。最初は話せなくても、英語で話している他の誰かを見て「自分もやってみよう」という気持ちが芽生えたのではないかと思った。今後も彼らの成長をアンバサダーとして見届けていきたい。